

# 李克強総理の広西視察

田中 修

## はじめに

7月8—10日、李克強総理は広西チワン族自治区を視察し、9日、広西チワン族自治区の書記・主席、湖南省・広東省・貴州省・陝西省の各省長を招請して、部分省区経済情勢座談会を開催した。これは、月末の党中央政治局会議において、今後のマクロ経済政策の基本方針を決めるまでの一連の政治プロセスの一環である<sup>1</sup>。以下、座談会における李克強総理の発言を紹介する。

今年に入り、わが国経済の運営は総体として平穩を維持しており、主要指標はなお年間予測の合理的区間にある。経済の構造調整は安定の中で前進をみており、転換・グレードアップは安定の中で質を高めている。しかし、**経済環境はさらに錯綜・複雑化しており、有利な条件と不利な要因が併存している。経済は成長動力もあるが、下振れ圧力もある<sup>2</sup>。**

わが国は、**経済の転換・グレードアップに依拠してはじめて持続的で健全な発展ができる段階にあり、安定成長・構造調整・改革促進を統一的に企画・推進することが十分重要である。**安定成長は構造調整のために有効な空間・条件を創造し、構造調整は経済発展のための持続力を増すものであり、両者は相互補完的である。さらに、改革を通じて体制メカニズムの障害を打破することにより、安定成長と構造調整のために新たな動力を注入することが可能となるのである。

マクロ・コントロールを現在に立脚し、長期に着眼することにより、**経済運営を合理的区間におさめ、経済成長率・雇用水準等が「下限」から滑落することなく、インフレ率等が「上限」を超えることのないようにしなければならない。**このような合理的区間において、構造調整に力を入れ、改革を促進し、**経済の転換・グレードアップを推進しなければならない。**

これと適応させて、合理的なマクロ・コントロール政策の枠組みを形成し、**経済情勢の異なる状況に応じて、構造調整・改革促進・安定成長、雇用の維持とインフレ抑制、リスク防止の政策を有機的に結びつけなければならない。**措置を採用して一挙に多くの成果を得るようにし、成長を安定させながら構造を調整し、現在にも長期にも有利なようにして、**経済の大きな上下動を回避しなければならない。**

当面の情勢については、**科学的発展に依拠して前進中の問題を解決し、改革開放に依拠**

---

<sup>1</sup> 俞正声政治局常務委員は、7月7—8日、甘肅省を視察している。

<sup>2</sup> ゴチックは筆者。

して発展中の難題を解決し、構造調整を通じて転換・グレードアップを推進しなければならない。マクロ政策をしっかりと把握し、うまく運用して、政策と発展の連続性・安定性を維持することにより、市場主体に安定した予想を抱かせる。同時に、コントロールの的確性と予見性を増強し、安定の中で役割を発揮させ、年間の経済社会発展の主要任務を達成しなければならない。

「新たな四化」（工業化・情報化・都市化・農業の現代化）の発展を統一的に企画し、工業化・情報化の深い融合を促進し、人間を中核とした新たな都市化を推進しなければならない。サービス業を発展させ、イノベーションにより駆動し、落后した生産能力を淘汰することにより、構造調整を強化しなければならない。行政管理、財政・税制、金融、価格等の重点分野とカギとなる部分の改革の歩みを加速し、市場メカニズムの役割を更に好く発揮させ、民間投資の積極性を更に有効に動員し、市場の活力を更に顕著に増強する。

中西部地域を発展させることは、地域構造最適化の重要内容であり、中国経済のグレードアップ版を作り上げるために意義のあるものである。国家は差別化した地域経済政策を実施し、中央財政は引き続き中西部地域とりわけ貧困地域への支援を不断に強化する。

東部地域は転換・グレードアップを加速し、産業レベルのハイエンド化に邁進し、更に高水準の発展を実現しなければならない。

地域のインフラの相互接続、統一された市場システムの建設を推進し、相互が優位性により補完し、相互が良性に作用し合う地域の発展構造を実現する。

東部地域にしても、中西部地域にしても、いずれも民生優先を堅持しなければならない。発展は人民を満足させ、人民が恩恵を受けるようにしなければならない。

(7月11日記)